

福祉のなま

2015年
10月号
第291号
全国福祉保育労働組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8サニープレイスビル5FA
TEL 03-5687-2901(代) FAX 03-5687-2903
メールアドレス mail@fukuho.org
URL http://www.fukuho.info/
ツイッター @fukuho_info
発行責任者/多久和令一
2015年10月5日発行

福祉
トピックス

憲法違反の戦争法案が強行採決で可決・成立

定期全国大会開催初日の9月19日未明、自民党、公明党、次世代の党、日本を元気にする会、新党改革は、参議院本会議で戦争法案（安全保障関連法案）を可決・成立させました。9割をこえる憲法学者が違憲としたほか、

さまざまな労組・団体、学者・学生、ママの会などが抗議行動に立ち上がりました。8月30日には国会前集会に12万人が参加。政権・与党の姿勢に批判が高まるなか、法の廃止を求める運動が求められています。

9月19・20日、第31回定期全国大会は、戦争法案が強行採決で可決成立するなか、東京都内で開催されました。

「戦争法案は廃案に！」「職場で地域で憲法を守り活かそう」「福祉は権利の実現を！」などのスローガンを、なかまといっしょに実現していく決意に満ちた討論が繰り広げられました。組合があつてよかった実感と確信を深めあいました。



特別決議を採択し、「戦争をやめて」のプラカードを掲げる参加者

9月19・20日 福祉保育労第31回定期全国大会



大会宣言（要旨）

※全文はホームページに掲載しています

発言に共通するのは、大変な情勢の中だからこそ、組合があつて良かったと実感でき、今こそ労働組合が出番であるとの確信だ。

- 戦争法を廃棄し、憲法改悪を許さないためにスト権を確立し、国民的な運動に合流しよう。
- 「福祉は権利」の実現、憲法25条に基づく権利としての福祉共同署名を推進しよう。
- 専門性にふさわしい賃金・労働条件を国、自治体に求めている。
- 共済加入も呼びかけ、仲間を増やし、頼りになる大きな福祉保育労を建設しよう。

特別決議（要旨）

全国大会開催日となった9月19日、安倍自公与党などは安全保障関連法案＝戦争法案の採決を強行し成立させた。福祉保育労は「命はよくみ人権を守る福祉労働者として、福祉と対極にある戦争への道を歩むことは許せない」アピールを発したほか、各地の集会やパレードなどで多くの国民と共感が生まれている。分会・職場・地域から行動をおこし、安倍自公与党と成立に荷担した勢力に厳しい審判を下し、戦争法を葬るまで総力を挙げて奮闘しよう。

「福祉の世界だけは特別だからルールが守られなくても仕方がない、という働き方の意識改革が労働者・労働組合にも必要だ」と主張する澤村書記長

「ダメなものにはダメ」といえることが組合活動の基本



「まとめ」を話す澤村書記長

澤村書記長

討論のまとめ

声をかけ、実態を語って
なかまといっしょに
もっと大きな団結を

要「交渉で一人ひとりが発言し要求していんだと分会を結成して実感した」など、言うべきこと

ベースアップや法令遵守にむけて、国の人材確保指針を制度として裏づけさせることも求めている

「福祉は権利」
自らが中身を語り
とりくもう

とを言い、ダメなものをダメと言え組合活動の基本が語られた。「健康問題は弱いところに現れる。職場全体の課題だ」との指摘も受けとめて、健康対策にも力を入れていきたい。

安倍政権がすすめている戦争する国づくりと裏腹にあるのが、福祉への攻撃。社会福祉全体をよくしていく運動を種別・分野をこえてすすめる。労働者と利用者の権利が侵害されているなか

で、現場の声を伝えていく現場実態レポートを重点としてよびかけたい。たたかいて通して自分たちが主権者・主体者だと気づいた人がたくさん生まれる。ここに確信をもった。一人ひとりが自覚するだけでなく、もっと大きな団結の力にしていこう。これが組合の役割だ。「行動で組合の素敵ななかまに出会えた。なかまがいることが誇り」との言葉を力にしよう。

一日中子どもたちと遊んでいた昔の実習生が懐かしい。とは言え、今も昔も変わらないのは、実習が福祉の仕事を知ってもらう絶好の機会であることだ。現場で働く職員を間近で見ると子どもとの関わり方一つひとつに専門性を感じるとして、将来自分も福祉の職場で働きたいと思ってしまう。日々の専門性に研鑽を積み、未来の福祉のなまのために。

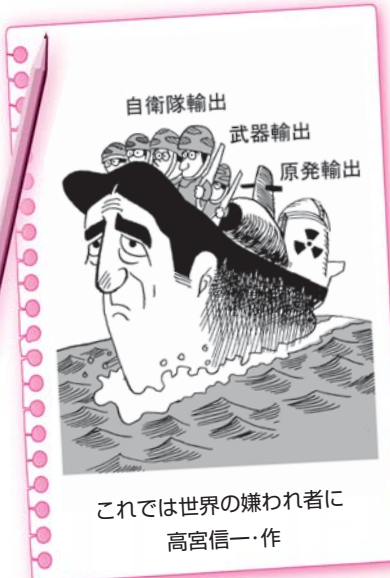
（岡崎）

福祉の風

私の施設では、年間を通して大学や専門学校から実習生を受け入れている。実習内容は取得する資格に応じて、ソーシャルワーク、保育、看護、臨床心理など多岐にわたる。二十年前までは自分が実習を希望し、そのまま施設に就職する学生も多かった。今は学校のカリキュラムに実習が必修として組み込まれ、指導や評価の仕方も細かに決められている。しかし、せっかく実習を終えて資格を取得しても、福祉分野以外の職種に就職する人が少なくない。

戦争法は廃止！「福祉は権利」の実現へ
一人ひとりが主体者として
力あわせて行動を

まんがタイム





戦争法は廃止！

平和こそ最大の福祉



「地元新聞に大きく取り上げられるなど4日間の連続宣伝にのべ125人が参加。大会ではわかりやすく思いをこめてつくった特別決議を読み上げ、『戦争やめて！』のプラカードを掲げた写真も報道された」二人で活動するのではなく、深めあうのが労働組合。ス

核廃絶にむけて 考えあひ学びあひ 継続して行動を

2日目は、核兵器廃絶にむけた4月下旬のNPT(核不拡散条約)再検討会議・要請代表団のニューヨーク行動報告を映像と発言で共有し、討論はつづきました。代表団の参加者は「二人ひとりが考えあひて、学びあひて、継続して行動しよう」と、福祉労働者が人の思い、いのちを大切にできる社会にしたい」(東

海)など語りました。子どもたちの夢と未来を守る決してあきらめない

京都の支部や所属の保育園分会で平和のとりくみを大切に、宣伝行動などをつづけ、原水爆禁止世界大会やニューヨーク行動に参加した代議員は、「子どもたちに将来の夢を聞くと素敵な夢を語ってくれる。でも、70年前の子どもの夢が『戦死する』だった」と長崎で被爆者から聞いた。

二度と繰り返してはいけないう、子どもたちの未来を守っていかけるようにあきらめるわけにはいかない」「行動で組合の素敵ななかまと出会えたことは私の誇りになっている。全国に福祉保育労のなかまがいることを実感している。組合の輪をもっと広げていけるようにがんばろう」と結び、反響をよみました。

福祉は権利 みんなの一步キャンペーン 一人ひとりが 語って実態を知らせて

署名活動を通して 福祉職場の 実態を知らせる

昨秋から秋の改善など「福祉は権利」を求めるとりくんだ国会議員の名について「秋の運動の中心にする」と組合活動がみなに見えようになった。作業の利用者によびかけると「僕ら(い)っしょに仕事をしたあとも遅くまで仕事しとるんやろ。大変やなあ」と協力してくれた。県内全施設に郵送すると50件以上の反応があった(滋賀)と大きな変化が語られました。

「新制度のもとで混乱はあったが、市の交渉で児童福祉法第1項の自治体の保育に対する公的責任をあらためて明確に認めた」成果も踏まえて「市内全園に署名の協力をよびかけ、11月は国会議員参加予定(高知)とさらに運動をすすめる決意もされました」(如遇改善加算は拡充されたが、4月の介護報酬の引き上げで如遇は悪化している。社会保障の連綿的な改善がつづかなか、若い組員が学習を重ねて意欲を伝え、危機感をもつていく体制を確立していました。

たい。保育の制度問題も含めていっしょに国や県に改善を要望して」「(島根)と、学習と運動を同時にすすめる必要も語られました。



2015年度中央役員

中央執行委員長
多和田一
副中央執行委員長
小山道雄、佐々木和子、清水俊朗、土田昭二、西浦西
書記長
澤村直
書記次長
民孝則、山田孝子
中央執行委員
上岡優、岡秀子、岡崎竜、加藤望、金田聖子、小林君江、澤井憲子、白石大、谷本樹保、寺坂渉、守屋真司
会計監査
玉置建二、石嶋陽子

採択された8つの議案

第1号議案 2015年度運動方針
第2号議案 2015年秋季年末闘争方針
第3号議案 2015年度制度政策要求
第4号議案 2014年度会計決算
第5号議案 2015年度財政方針と会計予算
第6号議案 2014年度共済会事業報告及び剰余金処分
第7号議案 2015年度共済会活動方針と事業計画
第8号議案 中央本部書記局運営規則一部改正

憲法25条を活かして

「福祉は権利」を実現しよう



賃金・職場闘争 法令軽視の 意識改革を労使ともに

「経営から人事課制度導入が伝えられた。分会会議で疑問を出して、アンケートをおこない加入につなげた」要求提出に足を踏み出せなかった分会が、支部と力をあわせて団体交渉を開き、分会ニュースを配布するまでになった(栃木)など、原則的地道な活動に理解が広がってきています。



「今春闘でもベスアップの実現はできない。人材確保をいくなめにも、定期昇給はもちろん、ベスアップの要求をして、勝ち取っていくことが重要(北海道)」「非正規労働者」アンケートをとったが、声を取り入れるためにも話してもらえぬ雰囲気や場が必要(群馬)など、大幅賃上げや非正規の処遇改善にふれた発言もつづきました。

組織・拡大強化

みんなで話せて みんなで決めて

「こんな組合にしたい」 悩みや要求を みんなで共有して

「みんながしゃべれるように...そしてみんなで決めたことだから...と納得して活動できるように心がけている」(兵庫)「分会で組合活動を可視化して、一人ひとりがどんな組合にしたいか語れるように意識を転換し

た(大阪)など、まず自分たちが主体的になれるように組織を強化している報告が特徴的につづきました。また、「非正規職員が増えているからこそ、悩みや要求を共有したい。同じ立場の人から声をかけるように生かしている」(東海)など、非正規職員を同じ労働者として組合に迎える工夫や課題も出されました。組合加入に悩むを深める役員も多くなか、「組合員が私一人になっても要求や団交を重ね、3年ぶりの重なる加入者を迎えた(京都)といううれしい報告は大きな拍手が起きました。

「休業補償があるのも、困った仲間を助けてい！」という支え合いからできた福祉保育労共済だからです。組員で

ないと加入できないので、共済もセットにして組合加入のよびかけを。たくさんの方が「入ってよかった」と思えるように共済加入を」と、今回初めて書記局分として参加した代議員から共済加入の推進が強調されました。

10月	
●16日(金)	児童養護全国交流集会(～17日 東京)
●22日(木)	憲法いかし、いのちまもる国民集会(日比谷野音)
●31日(土)	障害種別全国交流集会(～11月1日 高知)
11月	
●3日(火・祝)	保育大集会(日比谷野音)
●7日(土)	介護で働く仲間の全国交流集会(東京)
●8日(日)	全労連介護・ヘルパーネット総会(東京)
●9日(月)	福祉保育労中央行動
●12日(木)	全労連中央行動
●19日(木)	障害者の就労支援について考えるフォーラムV(国会議員会館)
●21日(土)	高齢種別全国交流集会(～22日 滋賀)
●28日(土)	春闘討論集会(～29日)

とりくみのお知らせ

福祉のなかま 今月の主眼張

平和主義を破壊し、戦争法案が、9月19日未明の参議院本議で強行可決されました。多くの国の反対と不安定を懸念し、議事録すらまともにつけない暴力的な採決は、国民主権、議会制民主主義を踏みにじるものであり、断じて認める訳はいきません。しかしこれまでも、こ

「わたし」を主語にした行動の広がり 足下からあり方を問い直す「はじまり」の日

うした暴挙により、国民の中に無力感や失望感が広がり、運動は収束に向かったかもしれません。けれど、今回は違います。全国津々浦々に広がった怒りの主体

行動する人々の広がりは、ではないでしょうか。「おかしい」「間違っている」と思ったことに対し、これまで私たちが声を上げ、行動を起こしてきたでしょうか。小さな課題で

い関係性を築き、ちょっとしたことで意を上げない運動へ発展することをも学びました。さあ、戦争法廃止、平和で民主的な国づくりの「わたがいの」はじまりです。まずは、

は、絶望感とは無縁であり、意気揚々と次のたたかいを準備しています。源にあるのは、「わたし」を主語に発言・発信し「わたし」の思いや考えで

も見過ごすことなく、勇気を出して改善に立ち上がることの大切さを、今回のたたかいは教えてくれました。たに、主語に主性が備われば、多くの個性が力強

立憲主義・民主主義をあらためて直すことからはじめましょう。そして憲法をわりの政治・行政の実現ではない、わたがいのことなので、身近な要求や願いから考えてみましょう。福祉保育労の仲間一人ひとりが、足下から政治や行政、職場のあり方を問い直すことが、立憲主義、民主主義、国民主権を取り戻すための第一歩となります。9月19日は、まさに「はじまり」の日です。

「みんなの一步キャンペーン」
賛同金にご協力を！
目標 1000万円

「福祉は権利」ニュースマガジン」の発行や宣伝用ノリ旗、横断幕の作成など、「福祉は権利」をみんなの一步で展開するための費用を賛同金として集めています。分会・支部に1口3000円・年間複数口のご協力をお願いします。

郵便振替口座 00110-1-45713 全国福祉保育労働組合
「みんなの一步賛同金」と明記してください

33歳 小くし

教える「福志郎先生」90

社会福祉事業を守り、たたかきための共同署名って？の巻

この保育園で働き始めて2年目になりました。園との出会いは大学生の時の実習です。自然なかで伸び伸びと過ごす子どもたちを見て、「この園で働きたい!」と思いました。

実際に働いてからは、行事やとくみは楽しいことばかりではありませんが、それらを通してだんだんと成長していく姿に感動し、いっしょに喜べることで毎日がんばれています。日頃の保育で

キラリ ふれっしゅインタビュー

トマトを育てています。日に日に成長してたくさん実りました。自分でとったトマトはやっぱり一番です!

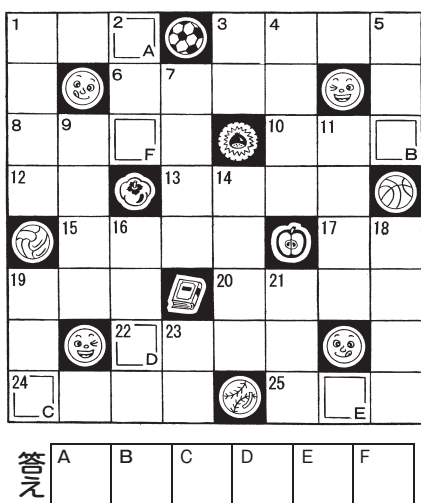


奥井 あずささん
1994年生まれ
滋賀支部・わらべ分会

My
ぶーむ

保育で迷った時、悩んだ時に

話し合える先輩や同期がいて安心



【解き方】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉はなに?
■「ヨ」のカギ
①秋の日は……落とし
③「秋桜」と書いて
⑥謝礼として出す金銭
⑧田舎の別荘などのこと
⑩「交番」の英語名……ポックス
⑫樹木の中心部分
⑬石原良純は気象……。
⑮「盛運」の反対語

①漫画コンピのピース。又吉直樹はボケ。綾部祐二は?。
②手塚治虫のトレードマーク……帽。
③70歳のこと
④からだの……を測ってスーツを新調
⑤首都はベルリン
⑦正常ではありません。……気象。
⑨教科書や副読本
⑪利子や株の値上がりで財産を増やします

クロスワードパズル

■タテのカギ
①……のすいから天井をのぞく
②リレー競争で渡します
③ベルトの留め金
④失敗は……の母
⑤早口言葉「トウキョウ……キョカキョク」
⑥ワイシャツの襟
⑦……のすいから天井をのぞく
⑧リレー競争で渡します
⑨ベルトの留め金
⑩失敗は……の母
⑪早口言葉「トウキョウ……キョカキョク」
⑫ワイシャツの襟

289号(2015年7月)の答えと当選者
答えは「ウチギノボリ」でした。応募は8人でした。抽選により、次の方々に図書カードを送ります。
高橋 三香子さん
(東海地本)
上杉 健一さん
(大阪地本・コスモス分会)
広次 洋子さん
(大分・夢ひこうせん分会)

応募方法

答えとあなたの近況や「福祉のなかま」への感想など、一言を添えてはがきかFAX、メールで送付ください(地方組織・分会、氏名、住所明記)。紙面やHP等に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

締切▶11月15日
発表▶2015年12月号
賞品▶正解者の中から3人の方に図書カード(1000円)進呈
宛先▶「福祉のなかま」編集部



7月号を読んで

理想を追い求めなければ…

大阪地本・コスモス分会 北野 正仁さん

6月に開催された社会福祉研究交流集会の報告が掲載されていましたが、フリーアナウンサー・町亞聖さんの記念講演での「理想を追い求めなければ、いつまでたっても現状に甘んじることになる」という言葉が深く心に残りました。

社研集会の報告記事を読んで、行ってみたい!

大分・夢ひこうせん分会 広次 洋子さん

社会福祉研究交流集会の報告記事を読みました。障害者の授産施設で働いていますが、他の分野の状況がよくわかり、読んでみてよかったと思いました。私もいつか行ってみたいです。



お便り
ありがとう

世代をこえて戦争法案ストップを!

大阪地本・大阪福祉事業財団分会 福田 志朗さん

暑い夏、戦争法案ストップをと、宿直明けに負けず、2カ月になった孫、3人の20代の子どもとともに、1万人集会に参加しました。戦争に生命を捧げることをないように、若者、ママ友、年輩労働者と共感し、1万人と手つなぎし、廃案までがんばるぞと決意しました。

田舎の両親と同居

ショックを受けたのは…

大阪地本・穂積福祉分会 馬場 順子さん

昨年末から田舎の両親としばらく同居することに。家が狭い上に、生活時間もちがうので、お互いストレスがたまってしまいました。何より、やさしい気持ちになれない自分にショックを受けたのでした。

あったか 共済



新制度対応の請求用紙ができました! 「健康給付」請求受付を開始します!

「ワンコイン共済」・「分会慶弔共済」に対応した、給付の請求用紙ができました。順次、分会共済会宛にお送りします。ご確認ください。

「健康給付1万円(ワンコイン共済加入10年間給付実績なし)」や、「インフルエンザ(連続5日以上休業)」・「日帰り入院」も給付対象です。

対象になる方は必ず請求をしてくださいね!

なお、2016年6月までに「ワンコイン共済」に加入すると、特典として、組織共済の加入歴が引き継ぎます。長期間組織共済に加入していた方はお早めの加入がおすすめです!!

加入申込み・お問い合わせは、お気軽に各地本支部・共済担当者、または福祉保育労共済会(フリーダイヤル0120-294-335)までお寄せください。

「年金共済」秋期 加入募集中

締切 11月15日共済会必着

加入者が万が一のときにも 残された家族を守ります

加入申込書、パンフレットのお申込みは共済会まで



制度の紹介

- ・月々5000円から自由に掛金設定ができます。
- ・年金受取開始は規定の年齢と加入期間に達すると、自由に決められます。
- ・事務手数料がかかるため、短期間で解約されると元本割れになることがあります。
- ・Aコースは個人年金保険料控除、Bコースは生命保険料控除の対象となります。

※各事項の詳細等については年金共済のパンフレットを必ずご確認ください。

入ってて良かった!!

共済のきりかえをきっかけに 組合活動の再開へ

この間、組合活動ができていなかった分会ですが、共済のきりかえをきっかけに、1人ずつに声をかけて、共済の給付対象をみんなで確認して手続きをしました。

「こんなのあったのー」「うれしい。初めて組合入っててよかったと思ったわ」「これをきっかけに会議しないかね」など、いろいろな声を聞くことができました。女性が多いことや、子どもをかかえて働いている人が多いことを、今回給付の手続きであらためて実感しました。

ちゃんと組合の意義を伝えること、今の情勢をどう見て動くかをみんなで再度考えていきたいと思いました。



(滋賀支部・大津支援センター分会)
山森 修子さん